

# THEATER DER WELT 2023

## 世界演劇祭 テアター・デア・ヴェルト 2023

プレスリリース (2023年4月)

### ●世界演劇祭/テアター・デア・ヴェルト 2023

3年ごとに、ドイツの異なる都市で開催される世界演劇祭/テアター・デア・ヴェルトは、1981年の創設以来40年の歴史を持ち、ドイツのみならず世界の演劇シーンを代表する重要な演劇祭です。第16回目となる今回、史上初めて実施されたディレクター公募には世界30カ国から70を超える応募があり、半年におよぶ長い選考プロセスを経て、シアターコモンズを主催する芸術公社の相馬千秋（プログラム・ディレクター）、岩城京子（プログラム・アドバイザー）の企画提案が選ばれました。伝統ある国際演劇祭を統括する初の非西洋人女性として、「世界」「演劇」「祭」のそれぞれに、これまでとは異なる視座を持ち込みます。

—世界演劇祭では、世界が複数であること、そこから複層的に聞こえてくる声を、歴史を、視座を、複数性を保ったまま提示します。同時に、西洋—東洋、男性—女性、人間—非人間といった二元論で世界を捉えるのではなく、すべてのものがグラデーションないし複層的に交差しながら存在することを再確認しながら、複数性を生きる主体を尊重します。

相馬千秋（プログラム・ディレクターズ・ノートより）

### ●フェスティバル概要

会期 | 2023年6月29日（木）～7月16日（日）

世界演劇祭 会場 |

フランクフルトとオッフエンバッハの2つの街の劇場、アートスペース、街中が会場となります。

フランクフルト市内：フランクフルト市立劇場、ムーザントゥルム劇場、フランクフルト応用美術館 他

オッフエンバッハ市内：キャピトルシアター 他

### ●プログラム

演劇、ダンス、音楽、VR/ARパフォーマンスなど、世界各地から36のプログラムが参加。日本からは、市原佐都子の『パッコスの信女—ホルスタインの雌』（欧州初演）、新作『弱法師』（世界初演）が世界演劇祭のオープニングとクロージングを飾る他、小泉明郎のプロメテウス3部作（『縛られたプロメテウス』、『解放されたプロメテウス』、『火を運ぶプロメテウス』）の一挙上演（いずれも欧州初演）、百瀬文『鍼を打つ』『Jokanaan』（いずれも欧州初演）『Social Dance』、サエボーグ『Super Farm』（世界初演）が参加。また、坂本龍一氏が音楽を手掛けたアピチャップン・ウィーラセタクン『太陽との対話（VR）』を上演します。

世界演劇祭では、「ヤング・ワールズ」シリーズとして、子どもや若者たちの視点を取り上げた作品を集中的に上演するとともに、主要会場の一つであるフランクフルト応用美術館が「インキュベーション・ポッド（孵化のさや）」に姿を変え、インタラクティブなインスタレーション、VRパフォーマンス、ワークショップなどを多数開催します。

〈「インキュベーション・ポッド（孵化のさや） 世界を夢見る」〉

会期 | 6/30（金）～7/16（日）（月曜日を除く）

会場 | フランクフルト応用美術館

—インキュベーションという言葉には、「孵化」と「潜伏」、すなわち新しい生命の誕生と、病として現れるまでの不安な時間が二重に含まれています。（中略）コロナ禍での学びを忘却するのではなく、そこで経験した「インキュベーションの時間」、すなわち「不確定な状態、宙吊りの状態」を肯定的に受け入れ、そこから新たな創造性を発揮する態度として、私は「孵化主義」を提案します。

—演劇祭の主会場の一つである応用美術館は、全館が「Incubation Pod（孵化のさや）」へと変貌し、昼から夜にかけて、そして7月8日は朝まで、瞑想、治癒、再生のための儀式やパフォーマンスが展開される空間となります。

相馬千秋（プログラム・ディレクターズ・ノートより）

〈「ヤング・ワールズ」シリーズ〉

「ヤング・ワールズ」シリーズは、子どもたちや若者、若い観客たちの視点を取り上げる機会を提供するプログラムです。自分たちの世界はどうあるべきか、どうあることができるか、どうならなくてはいけないか？若者たちがどのように考えているのか、演劇作品やパフォーマンスを通じて考えます。そして、若者による、若者のためのワークショップ、トークイベント、街歩き、ディスカッションなど、様々な形で、多様な視点をフェスティバルに持ち込みます。

### ●世界演劇祭 2023 に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人芸術公社 [artscommons.tokyo.inquiry@gmail.com](mailto:artscommons.tokyo.inquiry@gmail.com)

芸術公社 Web サイト「世界演劇祭/テアター・デア・ヴェルト 2023」 [https://artscommons.asia/projects/theaterderwelt\\_2023/](https://artscommons.asia/projects/theaterderwelt_2023/)

●参加作品 (詳細は世界演劇祭Web サイト (<https://theaterderwelt.de/>)に記載)

世界初演 (★) 5作品、欧州初演 (☆) 9作品、ドイツ初演9作品を含む全36プロジェクト。参加する30組のアーティストのうち、女性アーティスト (主宰/演出/作) 14組、男性アーティスト (主宰/演出/作) 10組、ジェンダー・ミックス6組。

市原佐都子『バッコスの信女—ホルスタインの雌』☆ (演劇)、『弱法師』★ (演劇)

小泉明郎『縛られたプロメテウス』☆ (VRパフォーマンス)

アピチャップン・ウィーラセタクン (チェンマイ)『太陽との対話 (VR)』☆ (VRパフォーマンス)

スザンネ・ケネディ (ベルリン)『ANGELA (a strange loop)』(演劇)

ホー・ツーニエン (シンガポール)『百鬼夜行』☆ (シアター・インスタレーション)

ゴージャ・ヴォドヴィック (ワルシャワ)『Wstyd (恥)』(演劇)

シュウ・ツェユー (台北)『The Zoo Hypothesis』★ (ビデオ・インスタレーション、レクチャー・パフォーマンス)

ナスタラン・ラザウィ・コラサーニ (ロッテルダム)『Songs for No One』(パフォーマンス)

フリンワークス & Asedeva (ベルリン/ダルエスサラーム)『Ultimate Safari』(VR演劇)

ティアゴ・ロドリゲス (リスボン)『Catarina and the beauty of killing fascists (カタリーナ、ファシスト殺しの美)』(演劇)

コレカ・プトウマ (ケープタウン)『HULLO, BU-BYE, KOKO, COME IN』(ポエトリー・パフォーマンス)

ローマン・グリゴリフ&イリヤ・ラズメイコ / Opera aperta (キエフ)『CHORNOBYLDORF-考古学的オペラ』(ミュージックシアター)

サール・マガル (ベルリン/テルアビブ)『10 Odd Emotions (10の奇妙な感情)』(ダンスシアター)

カロリナ・ビアンキ & Cara de Cavalo (サンパウロ/アムステルダム)『カデラ・フォルサ第1章 花嫁と”グッドナイト・シンデレラ”』(演劇)

El Warcha (チュニス)『ワークショップ』&『建築ワークショップ』(ワークショップ)

LIGNA (フランクフルト/ハンブルク/ケルン)『ベンチで会いましょう:休憩する練習』★ (オーディオ・パフォーマンス)

UNITED INSTITUTES (フランクフルト/オッペンバッハ)『Landing: モバイル・リサーチ・インキューベーター・ユニット』(インスタレーション)

その他:『オッペンバッハ国際ストリートフェスティバル』(音楽/演劇/パフォーマンス)

〈「インキューベーション・ポッド (孵化のさや) 世界を夢見る」〉

小泉明郎『解放されたプロメテウス』☆ (VR/ARパフォーマンス)『火を運ぶプロメテウス』☆ (VRパフォーマンス)

百瀬文『鍼を打つ』☆ (ビデオ・インスタレーション、パフォーマンス)『Jokanaan』☆ (ビデオ・インスタレーション)、『Social Dance』(ビデオ・インスタレーション)

トラジャル・ハレル (チューリッヒ/アテネ)『シスター あるいは 彼が体を埋めた — Sister or He Buried the Body』(ダンス)

サオダット・イズマイロボ (タシュケント/パリ)『Zukhra』(ビデオ・インスタレーション)

Keiken (ロンドン/ベルリン)『Palu Ángel Taizókai』(インタラクティブ・インスタレーション/VR)

BvdS (アムステルダム)『Echo's Chamber』★ (インタラクティブ・インスタレーション)

〈「ヤング・ワールズ」シリーズ〉

サエボーグ『Super Farm』★ (パフォーマンス)

サマラ・ハーシュ (メルボルン/アムステルダム)『It's Going To Get Dark』(パフォーマンス)

パミラ・シャムス (テヘラン):『است (is)』(演劇)

ママリアン・ダイビング・リフレックス/ダレン・オドネル (トロント/オッペンバッハ)『ナイト・ワーク with ティーンエイジャー』(パフォーマンス/都市型ガイドウォーク)

コレクティヴ・カラバ (バイルート)『忘れられた森の夢』(オブジェクト・シアター)

イエツェ・バーテラーン (スヘルトーヘンボス)『A fun night out 8+』(演劇、ミュージカル)

コレカ・プトウマ (ケープタウン)『Scoop: 赤ちゃんのための舞台』☆ (パフォーマンス)

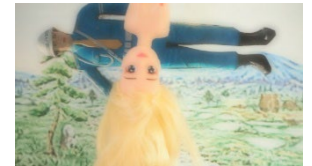
Small Citizens (ブジュンブラ/ブリュッセル/ゴマ/キガリ/ナイロビ)『Abana b'amazi (水の子どもたち)』(演劇)

サイファー道場 (フランクフルト)『Rep. Your City』(ダンス、音楽)



@Shun Sato アピチャップン・ウィーラセタクン

『太陽との対話 (VR)』



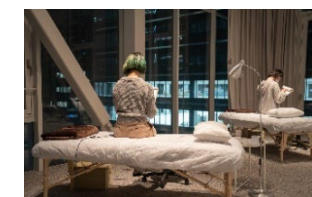
@ Satoko Ichihara 市原佐都子『弱法師』



@Meiro Koizumi 小泉明郎『火を運ぶプロメテウス』



@Taisuke Tsurui サエボーグ



@Shun Sato 百瀬文『鍼を打つ』